

二戸市交通安全計画の概要（R3～R7）

1 計画作成の趣旨等

<経緯>

当市では、これまでに、交通安全対策基本法（昭和45年法律第110号）に基づき、5年ごとに5か年の交通安全計画を策定し、交通安全対策を推進してきた。

それにより交通事故発生件数、死傷者数は年々減少傾向にあるが、平成28年から令和2年の直近5年間においては、交通事故により2人の尊い命が犠牲になった。

<根拠>

交通安全対策基本法第26条の規定に基づき作成するもの

<期間>

令和3年度から7年度までの5年間

<趣旨>

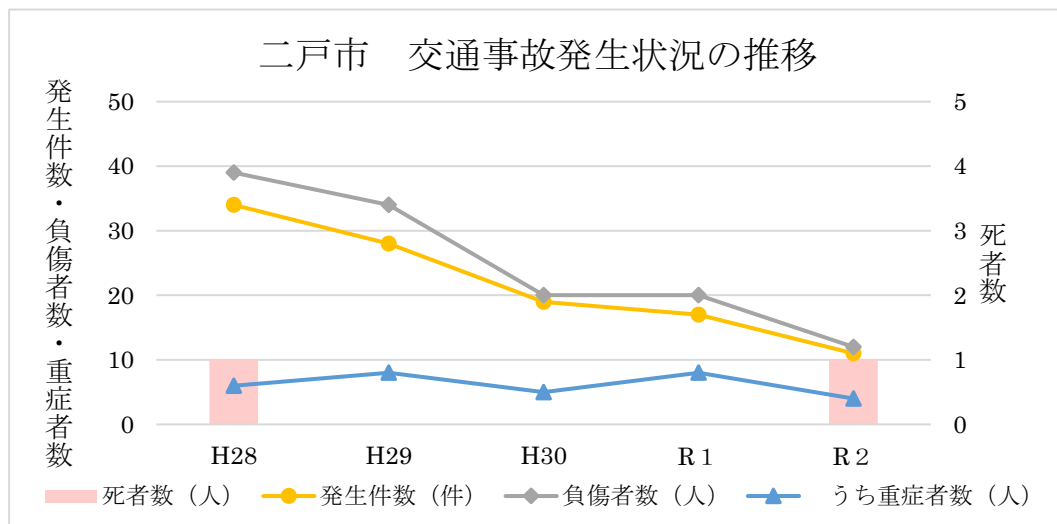
- 本市の交通安全に関する総合的かつ長期的な施策の推進に必要な事項について定める。
- 「第11次岩手県交通安全計画」に基づき作成（交通安全対策基本法第26条第1項）。
- 作成にあたっては、二戸市交通安全対策会議を設置する（交通安全対策基本法第18条第1項、二戸市交通安全対策会議条例第1条）。
- 交通事故のない社会を目指す。

2 基本理念

- 交通事故のない社会を目指して
- 人優先の交通安全思想
- 高齢化が進展しても安全に移動できる社会の構築

3 交通事故の現状・特徴と課題

(1) 道路交通の安全



※詳細は別紙参照

【用語解説】

死者数：交通事故によって、発生から24時間以内に死亡した者の数

発生件数：交通事故によって死亡または負傷を伴う事故の数（物損事故は含まない）

重症者数：交通事故によって負傷し、1か月（30日）以上の治療を要する者の数

(2) 踏切道における交通の安全

① 現状

二戸市内の直近5年間（H28～R2）における踏切事故件数は0件

② 全国的な特徴

- ・踏切事故は全国的に減少傾向
- ・直前横断による事故が約5割発生

4 計画の骨子

第1章 道路交通の安全

道路交通安全を考える視点

<重視すべき6つの視点>

- ① 高齢者及び子どもの安全確保
- ② 歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上
- ③ 生活道路における安全確保
- ④ 先端技術の活用推進
- ⑤ 交通実態等を踏まえたきめ細かな対策の推進
- ⑥ 地域が一体となった交通安全対策の推進

講じようとする施策

<7つの柱>

- ① 道路交通環境の整備
- ② 交通安全思想の普及徹底
- ③ 安全運転の確保
- ④ 車両の安全性の確保
- ⑤ 道路交通秩序の維持
- ⑥ 救助・救急活動の充実
- ⑦ 被害者支援の充実と推進

道路交通の安全についての目標

- (1) 令和7年まで、毎年、年間の死者数を「ゼロ」にする。
- (2) 令和7年までに、年間の交通事故発生件数を7件以下にする。
- (3) 令和7年までに、年間の重症者数を2人以下にする。

第2章 踏切道における交通の安全

踏切道における交通安全対策を考える視点

<対策を考える視点>

それぞれの踏切の状況等を勘案した効果的
対策の推進

講じようとする施策

<3つの柱>

- ① 鉄道交通の安全に関する知識の普及
- ② 踏切道の交通の安全と円滑化を図るための措置
- ③ 踏切道の統廃合の促進

踏切道における交通の安全についての目標

令和7年まで、年間の踏切事故件数ゼロを継続する。

二戸市の交通事故の現状・特徴と課題

1 現状（H28～R2の5年間）

- ・ 発生件数 : 計 109 件、平均 21.8 件
- ・ 死者数 : 計 2 人、平均 0.4 人
- ・ 負傷者数 : 計 128 人、平均 25 人
- ・ 重症者数 : 計 31 人、平均 6.2 人
⇒直近5年間において、発生件数及び負傷者数は半数以下にまで減少

【交通事故死者数、重傷者数、発生件数、死傷者数】

区分	H28	H29	H30	R1	R2	5年計	5年平均
発生件数(件)	34	28	19	17	11	109	21.8
死者数(人)	1	0	0	0	1	2	0.4
負傷者数(人)	39	34	20	20	12	128	25
うち重症者数(人)	6	8	5	8	4	31	6.2

2 特徴（H28～R2の5年間）

- ・ 全国に比べて致死率が高い（二戸市5年平均2.0%、全国5年平均0.7%）
- ・ 交通事故件数に占める高齢者の比率が高い
（高齢者事故割合：5年平均47.7%、高齢ドライバーが第1当事者の割合：5年平均24.8%）
- ・ 道路横断中の歩行者事故割合が高い（5年平均68.2%）

【致死率（死傷者数に占める死者の比率）】（死者数÷（死者数＋負傷者数）×100）

区分	H28	H29	H30	R1	R2	5年平均
二戸市	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	2.0%
二戸管内	1.6%	7.7%	5.3%	7.9%	8.7%	6.2%
岩手県	2.4%	2.2%	2.4%	1.9%	2.3%	2.2%
全国	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%

【高齢者の事故件数】

区分	H28	H29	H30	R1	R2	5年計	5年平均
事故発生件数(件)	34	28	19	17	11	109	21.8
うち高齢者(件)	15	11	9	10	7	52	10.4
構成率(市)	44.1%	39.3%	47.4%	58.8%	63.6%		47.7%
構成率(県)	38.7%	40.2%	41.8%	41.2%	44.2%		41.0%

【高齢ドライバーが第1当事者の事故件数】

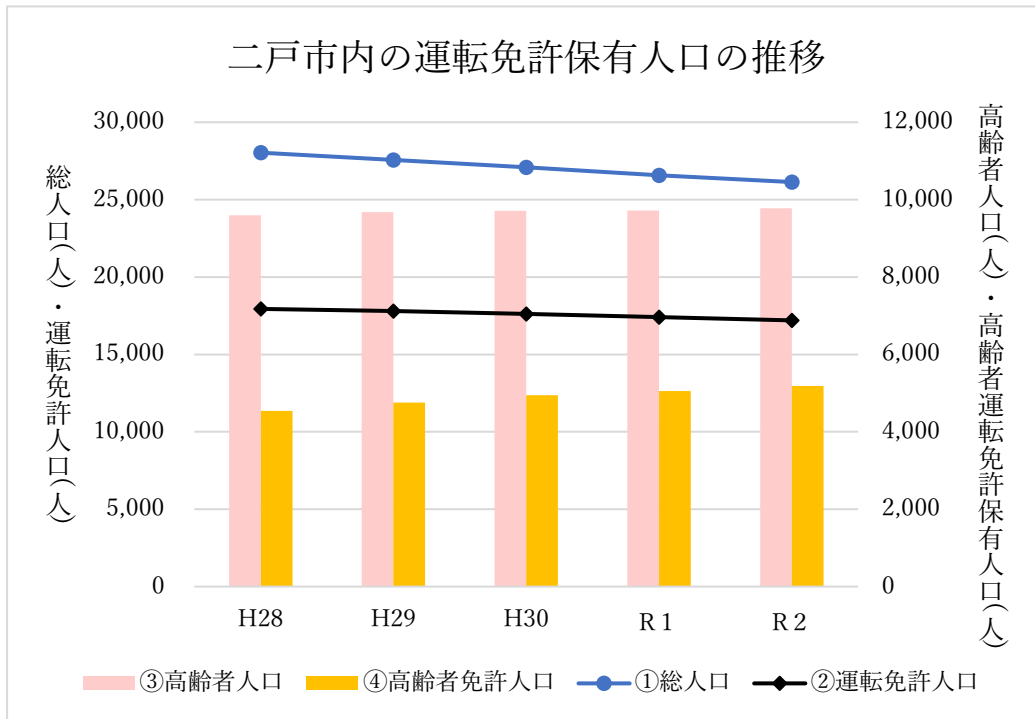
区分	H28	H29	H30	R1	R2	5年計	5年平均
事故発生件数(件)	34	28	19	17	11	109	21.8
うち高齢ドライバーが第1当事者(件)	10	4	7	3	3	27	5.4
構成率(市)	29.4%	14.3%	36.8%	17.6%	27.3%		24.8%
構成率(県)	23.7%	24.5%	25.8%	25.3%	29.1%		25.5%

【道路横断中の歩行者事故件数】

区分	H28	H29	H30	R1	R2	5年計	5年平均
歩行者事故件数(人)	5	4	4	6	3	22	4.4
うち道路横断中(人)	3	2	3	4	3	15	3.0
構成率(市)	60.0%	50.0%	75.0%	66.7%	100%		68.2%
構成率(県)	72.5%	65.3%	69.9%	61.8%	69.2%		67.8%

3 背景

- ・ 高齢者人口及び高齢者率の増加（R2.12時点高齢者率：37.4%）
- ・ 高齢者免許人口の増加（年約2～4%増、R2.12時点高齢者免許人口率：30.2%）
- ・ 二戸市の特徴として、集落の点在等から、車移動に依存している



【二戸市の人口と免許人口、高齢化率の推移】

区分	H28	H29	H30	R1	R2
①総人口(人)	28,034	27,566	27,087	26,576	26,138
②運転免許人口(人)	17,942	17,804	17,619	17,407	17,200
③高齢者人口(人)	9,599	9,678	9,713	9,720	9,776
④高齢者免許人口(人)	4,545	4,756	4,950	5,057	5,189
⑤免許人口率(②/①)	64.0%	64.6%	65.0%	65.5%	65.8%
⑥高齢者率(③/①)	34.2%	35.1%	35.9%	36.6%	37.4%
⑦高齢者免許人口率(④/②)	25.3%	26.7%	28.1%	29.1%	30.2%

4 課題

子どもや高齢者の安全確保と高齢化の進行等に対応した交通事故防止政策

5 主な取り組み施策

- (1) 関係機関・団体と連携した啓発活動による、住民の交通安全意識の高揚
⇒各季交通安全運動期間を中心とした街頭啓発、教育施設・高齢者施設等での交通安全教室 等
- (2) 二戸市地域公共交通計画に基く、住民のニーズに対応した持続可能な公共交通ネットワーク構築
⇒コミュニティバスの路線再編やデマンド交通の運行、公共交通事業のICカード導入支援 等
- (3) 二戸駅土地地区画整理事業等での道路整備
⇒道路機能の分化・利便性の向上、歩車道を分離する歩道設置 等
- (4) 住民（町内会・学校等）の要望に沿った交通安全施設・通学路の整備
⇒交通安全施設総点検会議及び二戸市通学路安全推進会議での協議・検討→整備